

北九州市6年連続 「子育て環境」1位

東京のNPO調査

子育てしやすい環境をNPO法人が順位付けする2016年度の「次世代育成環境ランキング」の政令指定都市部門で、北九州市が6年連続1位を獲得した。

男女共同参画に取り組むNPO法人エガリテ大手前(東京都)が統計データなどをもとに、独自の基準で全国の主要88都市(20政令指定都市、45中核市、東京28区)を調査。「出産環境」「児童福祉」などについて、施設数などを点数化して順位を決め、それをもとに総合順位を付けた。

中核市部門では山口県下関市が8位、久留米市が12位だった。

北九州市子ども家庭局に

よると、24時間対応できる小児医療の救急センターが

市内に4カ所ある点などが評価され、「小児医療」が1位となった。待機児童の少なさから「乳幼児保育」が3位に、病院・診療所の多さから「出産環境」が4位となった。そのほかの4項目(児童福祉、児童養護、児童保育、母子父子福祉)も10位までにランクイ

ンした。北九州市が1位になるのは2005年度の調査開始以来、10年度(2位)を除き、11回目。市子ども家庭局総務企画課は「子育て環境の良さは移住定住施策の入り口にあたるので、これからも充実させていきたい」としている。

エガリテ大手前の古久保俊嗣代表は「北九州は学童保育の評価が上がるなど、地域全体で子育てをサポートする態勢が充実してきている。これからも高い評価が続くよう取り組んでもらいたい」と話している。

(井石崇司)